

大吉さん宅に医療介護専門チームが訪問するの巻

① 最近、夫の物の忘れがひどくて…。

大吉さん

散歩中に帰り道が分からなくなってからは、自宅に閉じこもってしまっ…。

② 高齢者支援センター相談中

夫のことでもう、どうして良いのか分からなくなって。

センター職員

それは、お困りですね。

③ 方針を検討中

医師

奥様は悩んでいますね。

認知症の疑いがありますね。

看護師

まずはご本人と信頼関係を作りましょう。

センター職員

④ 第1回目の訪問

健康相談に来ました。

どこも悪くないぞ!! 帰ってくれ!!

⑤ 第2回目の訪問

お困り事は無いですか?

また来たのか… 帰ってくれ。

⑥ 第3回目の訪問①

あれは大吉さんですか?

現役の頃のお写真ですか?

しつこいな…。

⑦ 第3回目の訪問②

大吉さん、大工さんだったんですね。

そうだよ。散歩がてらに建物を見るのが好きだね。

⑧ 第4回目の訪問

どうして散歩に行かなくなったのですか?

ひとりで、外に出るのが不安で…。

それは辛かったですね。

⑨ 第5回目の訪問①

散歩に行けるようにお手伝いします。

あなたたちが言うなら考えてみるか。

まずは病院で診てもらいましょう。

⑩ 第5回目の訪問②

皆さんに話を聞いてもらえて嬉しかったみたい。夫が「受診しても良いかな」と話していたのよ。

私たちも一緒に行きますよ。

⑪ 受診中

大吉さんは初期の認知症ですね。お薬をお出しますか、規則正しい生活を送るのも大切です。散歩はこれからも続けてください。

私たちがサポートしますので、ご安心ください。

そうなのかな。早めに受診をして正解だったな。

⑫

同じ境遇の方の話を聞くことも為になりますよ。

病院の相談員

認知症カフェをご存じですか?

今度行ってみようかな。

今度行ってみてはいいかなですか?

⑬

認知症カフェ楽しかったよ。道に迷った時の対処方法を聞いたから安心して散歩が出来るな。

夫の笑顔が戻って嬉しいわ。

漫画の流れは1例です。このケースのようにスムーズにいかないこともあります。専門チームが工夫してみなさんと解決を目指します。

まずはお気軽に各地域の高齢者支援センター(P26)までご相談ください。相談を受けた際の個人情報は守られますので、ご安心ください。

